

防火ダンパー付パイプフード（長形）

アルミ製

ステンレス製



●ガラリ・シャッター付 ……… DV-141 LDYSタイプ

DV-142 LDYSタイプ

- このたびは防火ダンパー付パイプフードをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの防火ダンパー付パイプフードを正しく使っていただくために、この取付説明書をよくお読みください。
- この防火ダンパー付パイプフードは屋外に取り付けて雨風の侵入を防止し、また火災が発生したとき換気口から他への延焼を防止するために使用します。
- この防火ダンパー付パイプフードは地区により規制を受ける場合がありますので、ご使用にあたっては、あらかじめ所轄官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- この防火ダンパー付パイプフードは屋外に取り付けるタイプですので、屋外より容易に点検や温度ヒューズの交換ができるところへ取り付けてください。（手の届かないところへは取り付けないでください。）
- 本品は換気以外の目的で使用しないでください。
- 給気用として使用しないでください。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。



安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表 示 の 意 味
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または* <sup>1</sup> 重傷を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が* <sup>2</sup> 傷害を負うことが想定されるか、または* <sup>3</sup> 物的損害の発生が想定されること”を示します。

\*<sup>1</sup> 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。  
\*<sup>2</sup> 傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。  
\*<sup>3</sup> 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
 使用禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「使用禁止」を示します。
 手袋をする	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「手袋をする」を示します。

警告

密閉または半密閉の  
燃焼設備（給湯器、  
ふろ釜等）の排気ダ  
クトに使用しない

誤動作によりダンパーが  
閉じて、不完全燃焼によ  
り一酸化炭素中毒を起こ  
す恐れがあります。



使用禁止

注意

取り付け、お手入れの  
際は必ず手袋を使う

板金部品などの切り口や突  
起・角などでけがをする恐  
れがあります。



手袋をする

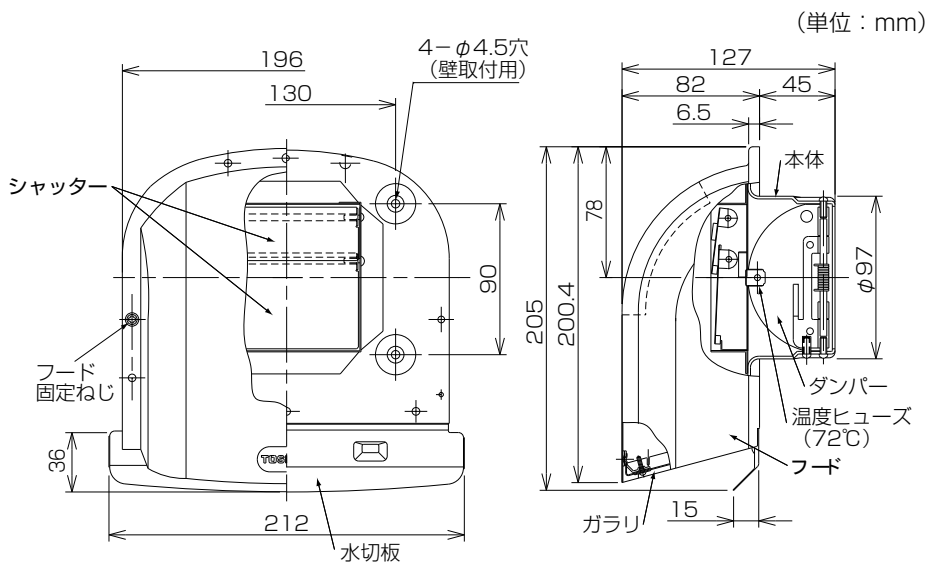
強度のある所に確実に  
取り付ける

落下により、けがをする恐  
れがあります。



確実に取り付ける

外形図



付 属 品	コンクリートねじM 4 × 25 φ (4 本)	
(財) 建材試験センター (試験成績書番号)	温度ヒューズ作動試験	第 14 A 3714 号
	漏煙試験	第 8 H 71136 号

お願い

1. 万一火災が発生し、防火ダンパーが働いたときは、換気扇の排気ができません。そのときは温度ヒューズを交換してください。（専用温度ヒューズをご使用ください）
2. 温度ヒューズの交換時には、安全のため厚手の手袋を着用してください。けがの恐れがあります。
3. この製品には一般用 72℃の温度ヒューズが取り付けられています。建築基準法に基づく使用場所に適合させるために、温度ヒューズの交換が必要な場合には、温度ヒューズ 120℃（サービスコード No41178104）を別売しておりますので、お買いあげの販売店にご相談のうえお買い求めください。
4. 温度ヒューズ 72℃の交換時はサービスコード No41178150 をお求めください。
5. 温度ヒューズの交換時は、フードをはずして行ってください。  
（閉じているダンパーは、引掛部を引いて両側 2 枚を合せ、ダンパー側面中央）  
の丸凹部を目印にダンパー 2 枚を温度ヒューズではさみ込みます。
6. 化学薬品を使うような場所には取り付けしないでください。
7. ステンレス製品は強い防錆力がありますが、海岸近くなど塩害の強い地域、塩素ガス、腐食性ガスの発生するところでは錆が発生することがあります。

取付方法・取付工事前に製品に変形など異常がないか確認してください。

- パイプ（ダクト）は、若干室外側へ傾斜させて取り付けてください。
1. 壁面の外側端面まで、不燃性ダクト（鋼板製スパイラルダクトなど）を配管し、壁面とダクトの隙間に、不燃性コーキング材（モルタル）を施します。
  2. フードと本体を固定しているねじ（2 本）をはずしてフードをはずします。
  3. 本体の取付板の 4-φ 4.5 穴を壁面にマーキングします。
  4. 上記マーキング部（4 か所）に 4-φ 3.3、深さ 35mm の下穴をあけます。
  5. 下図の図 1 のように本体とダクトの間（全周）に、不燃性コーキング材を施します。
  6. ダクトに本体を差し込み、本体取付板を付属のコンクリートねじ（4 本）で確実に固定します。
  7. フードの開口部を下向きにし、フードを取付板に合わせてフード固定ねじ（2 本）で固定します。
  8. フードと壁面の隙間に防水用のコーキング材を施します。

お願い

- フードが取りはずせないようなコーキング材は、使用しないでください。
- ダンパーが開いていることを確認ください。（下図の状態）
- 取り付けのときシャッターを变形させないでください。  
シャッター動作不良の原因となります。

